

進路だより

第2号 令和6年9月30日

東京都立府中けやきの森学園校長

相賀 直

進路部 担当 吉澤 山市

まだまだ暑い日が続いていますが、少しずつ秋風が心地よく感じる季節になりました。いつも本校の教育活動に御協力いただきありがとうございます。

さて、進路だより第2号では、夏季休業中に行われた福祉課訪問や進路見学会、定着支援についてお伝えします。進路選択・決定の御参考になれば幸いです。

夏季休業中の活動報告

高等部3年保護者福祉課訪問

福祉サービスの利用や各種障害者手当などは子供と大人で対象が変わります。18歳はいろいろな制度が切り替わる時期ですので、毎年7月に高等部3年生の保護者を対象とした福祉課訪問を実施して、今後の福祉制度の利用に関する説明を聞く機会を設けています。内容は、卒業後の生活に向けた話（愛の手帳の成人更新・就労アセスメント・障害支援区分の認定など）や障害年金、サービス利用の流れなどの情報、各市福祉課の担当のケースワーカーとの顔合わせなどです。

学校卒業後は各市の担当ケースワーカーが心強い支援者となってくださいます。普段は福祉サービスを利用していない御家庭も、こうした機会にケースワーカーとの繋がりをもっておくと、困った時の相談・解決がスムーズになるかと思います。この度は、暑い中御参加いただきましてありがとうございました。

保護者向け夏季進路見学会

今年度も多くの方に御参加いただきましてありがとうございました。就労の場として企業4か所、生活の場として通勤寮・グループホームを御案内いたしました。御参加の保護者の皆様におかれましても、必要に応じてマスク着用の御協力、誠にありがとうございました。見学にて得られました情報を是非とも御家族で共有し、将来のお子様の生活についての見通しをもっていただけましたら幸いです。

進路部として今後も必要な行事として捉え、来年度以降も見学先の選定や実施の方法を精査してまいります。よろしく願いいたします。

卒業生たちは今 ～定着支援～

夏期休業中に旧担任や進路担当が進路先に訪問し、卒業生の皆さんが働いている姿を実際に見させていただきました。どの進路先も様々な勤務形態をとりながら安全に通勤・通所ができるよう配慮がなされていました。

日々の仕事に慣れ、任された仕事に自信をもって取り組む姿は、とても頼もしく感じました。また、卒業生との話の中で「働くことは大変なこともあるが、中学時代からの夢が叶って本当に嬉しい。分からないことは周りの方に聞きながら、できることを増やしていきたい。」との力強い言葉を聞くことができました。

休日の過ごし方については、余暇活動が充実せず、家以外で過ごす場所がないという卒業生もいました。在学中に好きなことをたくさん増やしていくこと(一人でできること、家族や友達と一緒にできること、家の中でできること、家の外でできることなど)で余暇の過ごし方について少しずつ準備をしていただけると卒業後の生活がより豊かになると思います。

高等部卒業後の進路先について

保護者の皆様、高等部卒業後の進路先について、どのような場所があるか御存知でしょうか。「生活介護、就労継続支援A型、就労継続支援B型、就労移行支援事業所、特例子会社、企業」等、様々な進路先がございます。進路部としては、高等部入学後から進路準備を始めるのではなく、小学部・中学部の段階から少しずつ高等部卒業後の生活のイメージをもっといただくことを大切に考えております。

お時間がある時に近くの事業所などの外見を見に行ったり、見学をしてみたりしてはいかがでしょうか。今後のお子様の進路選択の見通しが少しずつもてるようになると思います。何か御不明な点がございましたら、まず担任にお問い合わせください。

今後とも本校の教育活動への御協力をよろしく願いいたします。

